

縄南中通信



平成29年11月 1日 発行
2017年度 第7号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校
校長 日比野 功

縄手南(小中一貫)施設分離型義務教育学校(平成31年度開校予定)教育理念

「縄南道」による二十歳の成人式に

当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成

今年もお世話になりハッスルしました！「イキイキひょうたん山！」

10月25日(水)、26日(木)の2日間、今年もジンジャモール商店街、瓢箪山駅前東商店会の皆様にお世話になり、縄手南中キャリア教育体験学習「イキイキひょうたん山！」を実施しました。商店街では事業所での体験活動だけではなく、放送設備を利用させていただきFMカラバッシュの実施、清掃部隊による奉仕活動、およびあいさつ運動、吹奏楽演奏披露、また、縄手南小学校・さくらいこども園での体験学習も含め、総合的なキャリア教育活動を実施させていただきました。この「イキイキひょうたん山！」は今年度で4年目の取り組みとなりますが、日ごろ学校生活で学ぶ「縄南道」を、学校の外ではどのようなことができるのかという挑戦でもあります。多くの方々のお世話になり、いろいろの事柄を準備していただき「イキイキひょうたん山！」を実施できています。そのようなことに気づき、感謝の気持ちを大切に、真剣に取り組む、これまで知らなかったことも新たに発見し、さらに成長することが目標です。この「イキイキひょうたん山！」を、多くの方々に「中学生に元気をもらった」「中学生ががんばっていたから気持ちよかった」と思っただけの取り組みに成長させたいものです。



FMカラバッシュスタッフ打ち合わせの様子

全国学力・学習状況調査結果から見えてくるもの ～勉強はコツコツとやる習慣を！～

4月18日(火)に実施された全国学力・学習状況調査結果が集計され、個々の生徒に結果が戻ってきました。毎年のことですが、マスコミ等で報道される平均正答率が話題になり、今年度も大阪府は全国と比較し課題の残る状況が続いているということがクローズアップされました。本校の場合も平均正答率は全国を国語A、国語B、数学A、数学Bの各教科とも下回るという結果でした。これは国語Aでは全32問中2問、国語Bでは全9問中1問、数学Aでは全36問中4問、数学Bでは全15問中1.3問の正答数の差を示します。全国学力・学習状況調査を実施する主な目的は、「①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。②そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。③学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」とされています。従って本校の場合も、全国と比較した時の正答数の差である1問、あるいは2問をなくすために、どのような授業改善をし、どのような学習状況を創造するかといったことに着目し、検証改善サイクルの確立に取り組んでいます。そこで大切な着眼点となるのが、「主体的・対話的で深い学び」というポイントです。学習形態として、過去のよ

うに授業では一方的な講義形式ではなく（時には必要）、そして生徒は暗記だけすれば良いというものでもありません。自ら主体的に積極的に授業に参加し、授業では言語活動を効果的に取り入れ、それらが生徒の学力向上に期するといった学習状況を創造しなければなりません。また、全国学力・学習状況調査では、各校のこうした取り組みを検証する質問項目もあります。本校は、全国と比較し、授業形態の改善や取り組みに対しては、先進的に積極的に取り組んでいる様子も伺えます。さらに、全国学力・学習状況調査では、学校に対しての質問項目の他に、生徒質問紙というものがあります。生徒に対して94の質問をし、学力調査結果との相関関係をクロス集計として分析しています。例えば、「朝食を毎日食べますか」という質問に対しては、肯定的な意見が高い集団ほど、肯定的な意見が低い集団に比べて正答率が相対的に高いという分析がされています。この生徒質問紙では学校生活時の間帯だけでなく、家での生活状況や学習状況と学力との関係も分析されています。本校の結果を分析すると、学力の結果に対して負の相関を示す要因として、「家庭での学習習慣」が大きく影響しています。その中でも負の要因として大きく影響しているのが、「普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしていますか（ゲームは除く）」という質問に対する結果です。全国平均では「1時間以上2時間より少ない」という回答が最も多く、続いて「30分より少ない」となります。本校の場合も最も多い回答は「1時間以上2時間より少ない」ですが、その割合は全国より多く、加えて「4時間以上」と答えた割合もかなり高くなっています。逆に「携帯電話やスマートフォンを持っていない」「30分より少ない」と答えた割合は、全国よりかなり低いという結果が出ています。また、「学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか」という質問に対して、「3時間以上」と答えた割合は全国より高くなっていますが、「30分より少ない」「全くしない」と答えた割合も全国よりかなり高くなっています。これが土曜、日曜となると「1時間以上」「2時間以上」「3時間以上」「4時間以上」と答えた割合は全国よりかなり低く、「1時間より少ない」「全くしない」と答えた割合は全国よりかなり高くなっています。しかしながら、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」という質問や、「将来の夢や目標は持っていますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対して、全国より肯定的に答えた生徒の割合は高いのが特徴です。この他にも多くの質問紙項目がありますが、相対的に本校生徒の学力・学習状況調査から見えてくることは、基本的な生活習慣や学習規律が身につくにつれ、人として大切な気持ちを持ちつつも、いざ勉強、特に家庭での学習、自ら進んで勉強に向かうということについてはまだまだ課題が残る結果でした。「縄南道」の柱は「人格形成」です。「勝因」である「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」、敗因である「いい加減」「適当」「だいたい」はすべて自分との勝負です。家庭での学習習慣もコツコツと積み上げ、身につくようにならねばなりません。前進あるのみです！

クラブ等の主な記録

バドミントン 第51回東大阪府中学校総合体育大会

男子ダブルス之部 3位 伊藤響 片山晴貴(8年)

水泳 小林叶和(8年)

第53回大阪府中学生学年別水泳競技大会 2年男子 400m 自由形の部 3位 4'15"88

第51回東大阪府総合体育大会男子自由形 200m, 1位 2'04"34

第50回東大阪府市民大会 C男子 100m 背泳ぎ 1位 1'09"22

D男子 400m リレーの部一般スイマー 3位 4'08"70

柔道 講道館初段昇段 香川仁志(9年)